

# 区政のことが聞きたい

## 第1回定例会 一般質問(要旨)

\*詳しい内容は会議録をご覧ください。  
第1回定例会の会議録は、作成次第、区議会事務局、議会情報コーナー、区立図書館、行政情報コーナーに備えます。また、区議会ホームページでもご覧いただけます。

### としまの夢 叶うものあり 果たすことあり

自民党豊島区議員  
吉村 辰明

**問** 19年度予算について、これまで予算と比べた評価は①赤字体質の脱却と安定的な財政改革の達成という点での位置付けは③前年度に比べ、予算規模が大きく伸びた要因と「身の丈」との関係は④隠れ借金の現状は⑤都区財政調整の結果についての考えは。

**区長** ①今後の区政の進路等が明確になった予算②今後4年間で赤字体質を脱却する見通しだが、これで財政改革達成ではなく、更に効率的な行政運営の確立等が必要③新規拡充事業の事業費増が主原因。身の丈を超えた予算ではないと認識④18年度末現在で15億円⑤自立的な区政運営を行うに当たって有益



子どもの教育は

**教育長** ①今回規定された教育の目標等を軸に、学校教育を行う必要があると認識②自主性・自発性を涵養する③学校運営の改善を図る上で重要④学校と家庭がそれぞれの役割を果たし、連携することで教育の真の成果が生み出されるものと認識

**区長** 東豊図書館や東豊体育館の再構築を含め、開発を検討。  
**問** スポーツ行政について、健康政策に運動・スポーツを位置付け、各部署が協力し、推進を。  
**文化商工部長** 関連部課長で健康部会を設置し、取り進む。  
**問** 団塊の世代への対策について、①シルバー人材センター等での受入体制は②社会貢献する能力を発揮する機会として、NPOのあり方への考えは③新たな

**区民部長** ①団塊世代の受け皿としては適当ではないと認識②区とNPOとの協働事業を広げる③社会参加システムを構築。  
**問** 教育について、①教育基本法改正への受止めは②「奉仕」についての考え方は③学校評価システムについての考えは④子どもの教育に対する家庭の責任や役割についても、積極的に進める必要がある。

**区長** 公務員の再就職に係る規制は、状況の報告と公表で信頼を確保し、自粛要請等は検討。  
**問** 外郭団体職員の公募制導入について、①選考過程や採用が不透明だから天下り批判となる。説明責任を②幹部13ポストは民間人を含めた公募制にせよ。  
**区長** ①選考や推薦の基準、管理職人事は公表できないが、ご指摘の透明性の確保は必要②外部評価の結果等を参考に判断。  
**問** 地下鉄副都心線について、①池86系統のバス路線の存続を強く東京都に求めよ②利用者本意の駐輪場確保を③新駅、東池袋駅の早期開業を進めよ。また近隣の再開発との関連は。  
**土木部長** ①東京都に要望する②230台規模を確保したい。  
**都市整備部長** ③利用者増加を背景に東京メトロに働きかける。周辺再開発は具体的な街づくりの方向性が地元から出せるよう予算措置した。

**問** 都電の緑化と池袋駅への延伸について、①軌道敷内約3万㎡の緑化を②池袋駅への延伸計画を東京都とともに進めよ。  
**土木部長** ①実現に取り進む。  
**都市計画部長** ②都電荒川線と連携した実現方策について検討。  
**問** 高田小学校跡地利用について、①救援センター機能の存続は②一部売却はやめよ③地元協議会の範囲は④公園の整備イメージは⑤機会の平等のためにも近隣区同様に子ども優先の運動場を確保せよ⑥地元協議会と区

の責任分担は⑦子どもたちにとってスポーツの効果と必要性は。とにあるとしても短期間で達成できるであろうか。そこで同戦略推進プラン2007に変更することを決断した時期とその真意は②未来戦略創出会議の諮問機関として、青年会議と女性会議の立上げを提案する。  
**区長** ①行財政改革を進め財源不足を解消したとしても、その先に目指す豊島区の姿、都市経営のビジョンがなければ、改革の意義は半減する考え、昨年6月の段階での平成17年度決算の状況や大幅な人口増を確信した上で、プランの変更を決定し、区が実施計画案をまとめる。  
**文化商工部長** ⑤地元協議会で検討する。  
**教育長** ⑦社会性や公正さを養う。生きるために必要な活動。  
**問** 長崎中跡地は、交付金対象を視野に、隣接のJR用地との一体的活用で利用価値の向上を。施設管理担当部長 ②ご指摘のとおり、財源措置も考え検討する。

民主区民  
藤本きんじ

天下り、許しません！

指定管理者や区が業務を委託する企業等への職員の再就職、天下りについて、再就職状況の報告と公表、退職後2年間は職



高田小学校跡地利用は

**土木部長** ①機能を持つ建物を確保②売却しない③近隣13町会で20人程を想定④防災公園を想定⑥協議会で基本計画案を策定し、区が実施計画案をまとめる。  
**文化商工部長** ⑤地元協議会で検討する。  
**教育長** ⑦社会性や公正さを養う。生きるために必要な活動。  
**問** 長崎中跡地は、交付金対象を視野に、隣接のJR用地との一体的活用で利用価値の向上を。施設管理担当部長 ②ご指摘のとおり、財源措置も考え検討する。

「住み続けたいまち、豊島区を目指して」

公明党  
小倉 秀雄

**問** 平成19年度予算の特徴は、今までの行財政改革プランから本区の未来を見据えた未来戦略推進プラン2007の策定が挙げられる。具体的なプランとして、10のビジョン、32のプロジェクトが示されている。このプランに関しては、基本計画がも

再生を考える上での公会堂の果たすべき役割の捉え方は④現公会堂に関する資料展示室の設置を求める。  
**区長** (1)本年中にその方向性を明確にする。自ら先頭に立ち、全力を傾注する(2)区民主体の多様な文化活動の拠点として整備する(3)現公会堂の敷地を原則に、区民や文化団体が気軽に利用できる施設とする。規模は、現在と同規模か、それ以上とする(3)まちの賑わいを生み出す拠点施設とする④検討する。  
**問** 池袋駅大改造計画の実現について、①平成2年策定の複合空間基盤施設整備改革の東西デッキ構想が実現しなかった要因は②大塚駅と同様の国の都市再生交通拠点事業の導入による池袋駅の課題の解決手法は③今後の基本的な進め方をどのように考えているのか。  
**区長** ①当時、駅東側にデッキの接合スペースがなく、事業資金の負担割合もルール化されていないことが主な要因であった②地上部の自由通路の設置、地下コンコースからの東西広場等へのバリアフリー化等が考えられる③駅周辺の現状調査を進め、国の都市再生交通拠点事業の導入を前提に、事業費の負担割合を算定し、鉄道事業者等関係機関との調整に全力で取り組む。  
**問** 青色街灯は犯罪抑止効果があるので、安全・安心のまちづくりのため、早急に設置に取り組むべきでは。  
**土木部長** 平成19年度の早期にモデル地区を選定し、検証する。池袋地区、池袋本町地区については、その検証結果を踏まえ、実施できるように取り組む。



現豊島公会堂

黒字財政は、区民のくらし、福祉優先に

日本共産党  
垣内 信行

**問** 広がる格差に対する区長の認識とその具体策について、(1)区民生活に影響を与える政府の増税計画にはきっぱりと反対の意思を表明し、撤回を求めるべき(2)広がる格差と生活に苦しむ区民への対応策、①区民の経済的格差、区民のくらしをどう認識しているか②社会的弱者の救済策は③実施すべき具体的な軽減策、④高齢者非課税制度の廃止で介護保険料が大幅に増えた高齢者を救済する区独自制度の創設を⑤定率減税全廃などで国民健康保険料への影響を最も受ける年収200万から400万の層に更なる軽減策を講じるべき。  
**区長** (1)撤回を求める考えはない(2)厳しい状況が続いている②自立した生活の支援を基本に、必要となる対策を講じていく。  
**助役** (3)区独自制度を創設する予定はない②課税総所得金額200万以上の所得割世帯にこれ以上の負担を求めるのは困難。  
**問** 「未来戦略推進プラン2007」の見直しについて、財政が好転し、基金に積む金があるなら、まずは削った福祉をもとに戻し、区民サービスを拡充すべき。①基本計画をもう一度見直し、区民需要に見合ったものに策定し直すべき②大規模開発中心の莫大な財源を要する計画

とにあるとしても短期間で達成できるであろうか。そこで同戦略推進プラン2007に変更することを決断した時期とその真意は②未来戦略創出会議の諮問機関として、青年会議と女性会議の立上げを提案する。  
**区長** ①行財政改革を進め財源不足を解消したとしても、その先に目指す豊島区の姿、都市経営のビジョンがなければ、改革の意義は半減する考え、昨年6月の段階での平成17年度決算の状況や大幅な人口増を確信した上で、プランの変更を決定し、区が実施計画案をまとめる。  
**文化商工部長** ⑤地元協議会で検討する。  
**教育長** ⑦社会性や公正さを養う。生きるために必要な活動。  
**問** 長崎中跡地は、交付金対象を視野に、隣接のJR用地との一体的活用で利用価値の向上を。施設管理担当部長 ②ご指摘のとおり、財源措置も考え検討する。

**問** 池袋駅大改造計画の実現について、①平成2年策定の複合空間基盤施設整備改革の東西デッキ構想が実現しなかった要因は②大塚駅と同様の国の都市再生交通拠点事業の導入による池袋駅の課題の解決手法は③今後の基本的な進め方をどのように考えているのか。  
**区長** ①当時、駅東側にデッキの接合スペースがなく、事業資金の負担割合もルール化されていないことが主な要因であった②地上部の自由通路の設置、地下コンコースからの東西広場等へのバリアフリー化等が考えられる③駅周辺の現状調査を進め、国の都市再生交通拠点事業の導入を前提に、事業費の負担割合を算定し、鉄道事業者等関係機関との調整に全力で取り組む。  
**問** 青色街灯は犯罪抑止効果があるので、安全・安心のまちづくりのため、早急に設置に取り組むべきでは。  
**土木部長** 平成19年度の早期にモデル地区を選定し、検証する。池袋地区、池袋本町地区については、その検証結果を踏まえ、実施できるように取り組む。



未来戦略推進プラン2007(案)

が盛り込まれたプラン2007は改めるべき。  
**区長** ①策定し直す必要性はない②今後4年間の区政運営の方向を示す重要な計画であり、3月末には策定したい。  
**問** 来年度予算をくらし・福祉を優先することについて、(1)在宅障害者の全サービスの利用者負担を3%にし、サービス利用量が多い重度障害者の月額上限額を半額に軽減すべき(2)介護、①介護保険料は、抜本的に負担軽減を講じるべき②寝たきり高齢者紙おむつ支給事業は、全面的な復活・拡充をすべき③福祉基盤整備の拡充は、区が責任を持って、需要に見合った建設計画を立て、実現すべき(3)住宅対策、①福祉住宅や区営住宅は、需要に見合った建設計画を立て、増設すべき②区民住宅は、家賃の負担軽減を図るなど、区民需要に応える抜本改善を③民間住宅耐震改修助成事業は、マンションにも適用できる制度に拡充すべき(4)移動教室、修学旅行補助などを復活・拡充するなど、私費負担の軽減策を講じるべき。  
**助役** (1)国の負担軽減策や他区の動向等も見極め検討(2)①重要な課題として取り組んでいく②現時点では考えていない③国や都の補助制度の動向を踏まえ検

討(3)①区管住宅は移管及び建替えによる増設が基本②財政負担の増加には慎重にならざるを得ない③早い時期に制度化したい。

**教育長** (4)修学旅行の補助を復活する考えはない。移動教室等の補助率については、保護者の理解を得ていると考える。今後とも軽減する努力をしていく。

**区長** 白紙撤回する考えはない。19年度には、公募等による区民参加の組織を立ち上げる予定。

**問** 南長崎地域のまちづくり、

①長崎中学校跡地のスポーツセンター整備の具体計画を早め、西部地域のスポーツ施設の空白期間をつくるべきではない。休止中の豊島プールを含め、どうするつもりか②JR南長崎宿舎を区が取得できれば、スポーツセンター整備はもちろん、緑豊かな大規模公園、区民のための施設建設など、新たな南長崎地域のまちづくりにつながるので、取得に向けて全力を尽くすべき。

**助役** ①隣接するJR用地の動向も視野に入れ進めていく必要があるが、空白期間を最小限にとどめるよう努めていく。豊島プールは、西椎名町公園に編入する予定②用地取得や共同開発等を視野に、JRに対し、様々なアプローチを行っていく。

**状況変化を見据えた「子ども施設」を**

無所属ネット  
**日野 克彰**

**問** 子ども施設について、①未来戦略推進プラン2007で今後の子どもの人口の増加が示

された。現状においても区の保育園待機児の解消が喫緊の課題となっており、保育園の改築、新たな民間保育園の誘致等、来年度に向けた具体的な保育園の定員拡大策を図るべき②私立幼稚園に対する様々なニーズが高まる中、特に保護者ニーズの大きい預かり保育への支援策に取り組むべき③幼児教育の専門機関である私立幼稚園が地域の幼児教育センターとしての機能を果たすため、幼稚園が実施する地域開放子育て支援事業への区の支援・誘導策を検討すべき。



保育園の定員拡大を

**子ども家庭部長** ①3歳児以上については現在の定員枠で対応可能。乳児については、民営化に際し、改築・施設整備により定員を増やすよう努める②私立幼稚園連合会と協議し、新たな地域の子育てセンターと位置付けられるよう、私立幼稚園連合会と協議を進める。

**問** 事業仕分けについて、①豊島区単体ではなく東京都を交えた形での事業仕分け(縦の自治体間での垂直的仕分け)を実施し、事業の合理化・無駄のあぶり出しを図るべき②将来の23区再編に向けて豊島区としてメリットのある形を早期の段階から模索するためにも、隣接区等を交えた事業仕分け(横の自治体間での水平的仕分け)の実施を検討すべき。

**区長** ①都と区の事務移管の解決が先決②来年度導入予定の新評価制度に、提案の事業仕分け機能も視野に入れて検討する。

**人に優しい豊島区のために**

社民党  
**山口 菊子**

**問** 政策決定のあり方、(1)区民ひろば、①既に活用されている有料施設との違いは②今後の利便性の仕切りは③地域ごとに具体的に説明すべき④活用実態の検証は⑤地理的偏在への対応は②区長は現場主義を実践してきたが、担当職員にその視点が不足しているのではないか。



区民ひろば活用実態の検証は…

**区民部長** ①①従前の施設の性格を引き継ぎ無料②慎重に検討が完了しているが、遅れた部分があった④現場を確認し検討⑤区内全域で実施した際、調整。

**区長** ②再度、徹底していく。

**問** 池袋駅前環境浄化に関わる問題は、抜本的な解決に向け、東京都へ働きかけることが必要だと思いが、区長の見解は。

**豊島区が目指すべき方向性「CS2」**

自民党豊島区議団  
**堀 宏道**

**問** 池袋西口の街づくりは、東

口との差がある。このまま置き去りにされないように、今こそ真剣に取り組む必要があると西口の人たちは考えている。この危機感をどう捉えているのか。



池袋西口の街づくりは

**区長** 強い危機感を持っている。あらゆる可能性を最大限生かし、個性を生かした街づくりを生み出す最善の努力をする。

**問** 教育基本法が改正され、区民は公教育の飛躍に、現場が思っている以上に期待を寄せている。公教育離れが後を絶たないが、原因をどう捉えているのか。

**教育長** 都心部全体の課題。生活指導に対する不満や公教育の制約でニーズに応えていないなどが原因。教師の資質を高め、組織的な子どもの指導に努める。

**問** 授業の開始・終了時に起立・礼・着席が行われないと、けじめがなくなり、子どもたちが授業に集中できなくなるので、全校で行われるよう指導すべき。

**教育長** 教師と子どもが真剣に向き合い互いに良い授業にしていこうという気持ちを込め礼を交わすことは、人として大切であり、教育活動でも効果的であると考える、学校を指導していく。

**共生への挑戦4 出会う喜びを豊島区の魅力に**

民主区民  
**小林 俊史**

**問** 「価値あるまちづくり」に

ついて、①豊島区の魅力を生み出す都市経営の思想をどのように考えているのか②交通政策による集客方法、外国からの来住者に観光大使となってもらおう国際交流の視点等、都市経営の理念として、「出会う喜び」を魅力に持つことで、「住んでみたい街」「訪れたい街」が実現されるのでは。

**区長** ①個性の発揮、人・物・情報の集積、持続可能性に対する信頼の確保という3つの視点や取組みを通じて、今後も都市経営の思想について議論を続ける②「まち」の情報を発信し、誰もが快適に過ごせる街の基盤を整備することで魅力ある空間を造りだすことが大切と認識。



都市経営の思想は…

**問** 財政におけるバランスについて、(1)「歳出歳入のベストバランス」と「担税力の面でバランスの取れた人口・世帯構成」の捉え方は(2)パートナーシップ財政について、①財政・行政システムにおいて、どのような考え方で取り組むのか②地域通貨ポイントに対し、コミュニティツールとしての効果の期待は③財政上において、協働による分野の取扱いは。

**政策経営部長** ①歳出歳入の最適なバランスを定義し、人口・世帯のバランスの目標を設定するには、より一層の地方分権改革等が必要と認識②①財政的にも安定し、行政システムとしても効果的な地域経営の確立を目指すため、協働を一層推進し、税金に頼らない公共サービスのあり方を模索していかなければ

ならない②コミュニティの新しい形をつくるものとして発展を期待③協働の推進は持続可能な財政運営に大きな効果を及ぼすものであり、積極的に取り組む。

**問** 参加型区政の展開について、各種審議会等の公募委員だけでなく、区民メンバーによる政策会議や区民と行政職員が共に考える共同会議開催の検討を。

**区長** 政策・共同会議等について調査研究し、自治推進委員会の議論を生かしていく。

**問** 区政を司る中で「保守」という意識があるのか。もしあれば、豊島区の生活の何を守るべきと考えるか。

**“魅力ある街”として、目指して**

公明党  
**木下 広**

**問** 産業振興策について、①都市型新産業立地については、区全体のまちづくりの中で産業を位置付け、行政が行う基盤整備や人材確保の支援が必要である。18年2月の「都市型新産業立地構想研究会」報告に対するその後の区の対応は。また、公有地の活用による印刷集約工場構想



都市型新産業立地構想研究会報告書

やIT産業との協働は②「未来戦略推進プラン2007」の中で産業の隆盛を図り、産業をまちの中で生かすべきでは。

**文化商工部長** ①平成19年度に「としまものづくりメッセ」を実施し理解を広げる。産業振興の視点で検討②商工振興は都市再生の中でも重要な位置を占めると認識。

**問** (1)子ども施設について、①中学校区を単位とした、山形県遊佐町の少年町長、少年議員公選事業のような取組みの実施は②若者の意見集約と区政参加への取組みは③小さい子どもへの施策について、①組織の枠を超えた施策の構築は②区の組織再編の理由は③組織再編の効果と今後の取組みは④就学前の教育と保育を一体として捉え、一貫して提供する新たな枠組みの「認定こども園」の基本的な見解と行政需要は⑤私立幼稚園の意向と区の対応は。

**区長** ①①イベント的な単発の事業に終わらせない仕組みが肝要②積極的に検討③施策を総合的に推進④総合的な対応への組織化⑤教育委員会と区長部局との連携・協力体制を構築し、柔軟な組織による機能向上を図る④意義を認識し、保育園待機児の解消が期待される⑤最大限尊重し、総合的な取組みを検討。

**地域の活性化は商店街の振興にあり**

自民党豊島区議団  
**村上 宇一**

**問** 今後の商工振興策の考え方とその方向性は。

**区長** 商工業の振興がこれからのまちづくりには欠かせないものと考えており、賑わいのある商店街と生き生きとしたものづ

くり産業が、まちの中で結びつき、その力が地域の活力を増加させるよう、効率的で効果的な商工振興策を展開する。



商店街への支援は…

**文化商工部長** 後継者難の実態や商店街の活力に関する調査を行い、NPO法人「としま創業ネットワーク」と協働し、事業継承に係る相談会等を実施。また、従来からの制度を充実させ、商店街支援の多様化を図る。

**問** ①「空き店舗対策事業」等の執行率が上がらない原因は②空き店舗対策の実施例は。

**文化商工部長** ①商店街が賃貸の当事者となることも、改装費や家賃の負担、店舗の誘致をも担わなければならないことなどが原因と考える②池袋本町地区の「街づくりネットワーク」や庚申塚商売会「大正さろん」があり、池袋本町地区では、2例目として友好都市のアンテナショップを計画している。

**問** ①中規模小売店の出店に際しての手続きは②商工振興条例の改正予定は。

**文化商工部長** ①手続きや書式については、新設と改修等との差はなく、開店の8か月前までに届出を出すよう指導している②条例については、新設と改修の違いや商店街振興という視点も入れ、今後検討していく。

